

1. 単元名 「私たちの住まい～古民家再生を通して探る、地域の魅力」

2. 単元の目標

○新しい住宅を建てずに古民家を再利用している環境や方法への興味・関心を持ち、地域での少子高齢化が進む歴史的背景に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

(知識・技能)

○古民家の歴史や特徴について学ぶことで、私達は日本の伝統的な建築様式や文化を深く理解し、思考力を養う。

地域の文化を守りつつ、問題形成と問題解決を通じて持続可能な地域づくりを考える力、思考・判断したことを説明する力を養う。(思考力・判断力・表現力等)

○地域の住民や専門家とのインタビューを通じ、団体との連携やコミュニケーション能力、持続可能性・SDGsへの理解を深め、未来への展望に付いて考え、自ら主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、前の単元から住居の大切さや役割などを把握した上で「私たちの住まい～古民家再生を通して探る、地域の魅力」に焦点を取り上げる。福住では古民家再生を利用し移住してきてくれている家族がいるので、古民家を利用している家族にインタビューをし、特徴や魅力、その背景や目的について理解し、古民家再生とSDGsとの関連性や地域とのつながりをとらえられるように活用したい。グループで取り組みChrombookを用いて表現させる力を養う。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、小中統合した学校であり、また、福住学では里山再生にも取り組んでいる。したがって、福住地区の持続可能な発展に関しては既に強い課題意識があると考えられる、今の福住の住居や地域のまちづくりを自分自身の考えに置き換え、問題解決に生かしてほしいと考える。

(3) 指導観

この単元では、古民家再生を通じて住居の重要性や未来像を考える力を育てたい。住まいがない場合、コミュニケーションのつながりや地域の文化が失われる可能性があるため、解決策を考える力が重要で、古民家の再生は地域の魅力を高め、移住者を受け入れる環境を整える一つの方法であるということを考えさせたい。また、持続可能な住まいのあり方を学ぶことで、地域活性化に向けた多面的な考え方を身に付け、生徒たちが創造的な解決策を見出し、地域に貢献できる力を育むことが期待される。

(4)ESDとの関連

・学習を通して養いたいESDの視点

【相互性】

家を通して伝統や家族・地域の人々とのつながりがあり、それらが循環していること。

【有限性】

住居は生活する上で絶対不可欠なものであるが、いつまでもきれいなまま建ち続けるわけではない。

・学習を通して主に養いたいESDの資質・能力

【未来像を予測して計画を立てる力】

家は住まなければどうなるのかを想像し、解決方法を考える。

【システム・シンキング】

自分たちの家がいつまでもきれいなまま建ち続けるわけではなく、建て替えるという考えだけでなく再生したり、地域活性のために移住者を受け入れたりするという選択もある。

・この学習を通して育てたいESDの価値観

【自然環境、生態系の保全を重視する】

【人権・文化を尊重する】

・達成が期待されるSDGs

3 健康・福祉

11 住み続けられるまちづくり

4単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・新しい住宅を建てずに古民家を再利用している環境や方法への興味・関心を持つ・少子高齢化が進む歴史的背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none">・古民家の歴史や特徴について学ぶことで、私達は日本の伝統的な建築様式や文化を深く理解し、思考力を養う。・地域の文化を守りつつ、問題形成と問題解決を通じて持続可能な地域づくりを考えている。・自分たちが知った知識や情報を他の誰かに伝えている。	<ul style="list-style-type: none">・地域の住民や専門家とを通じ、団体との連携やコミュニケーション能力、持続可能性・SDGsへの理解を深め、未来への展望について話している。

5. 単元の指導計画(全12時間)

	主な学習活動	学習への支援	○評価・備考
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・前の単元の復習から、自分の家や友達の家の様式などを理解する ・地域の現状を把握し、課題を共有する。(空き家問題・人口減少などの影響を分析) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元の復習から自分の住まいの役割や環境など、今の福住はどういう状況なのかをChromebookを用いて「天理市 福住人口推移」を参考に少子高齢化の現状を考えさせ、どんな影響が起こるかを考えさせる。 	ア
3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家って何なの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家の写真や映像を見る、地域の古民家について調べる、グループで話し合う。(実際の古民家マップを作成促す) 	ア
5	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家マップを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のある古民家や自分の家を写真にとり地域の状況を肌で感じ取る 	ア、イ
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ古民家を再生するの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家再生のメリット・デメリットを調べる地域の課題との関連性を考える ・質問を考えさせる 	イ
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との(けやき)交流の方に話を聞く ・移住してきた友達や家族に話を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民や専門家へのインタビュー、地域の団体との連携 ・良い面だけでなく、悪い面や困っていることも聞くように促す 	ウ
9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家再生のアイデアを考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで古民家を再生するアイデアを出し合いプレゼンテーションを作成し発表する ・地域の団体の方にも聞いていただき意見交流を行う 	イ、ウ
12	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家再生の取り組みについて持続可能な社会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの観点から住み続けられるまちづくりについて重要性について話し合う 古民家再生とSDGsの関連性、未来の地域社会について考える 	ウ